

第25回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第25回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成27年1月20日（火） 午後3時～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	2人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<p>(1) ・「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」（案）に対するパブリックコメントの実施結果について</p> <p> ・「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」の承認について</p> <p>(2) バスマップの作成について</p> <p>(3) 観光資源と路線バスを活用した取り組みについて</p> <p>(4) 平成26年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>(5) その他</p>
会議内容	別紙会議内容のとおり

第25回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	会議内容（要旨）
事務局 （鈴木主査）	只今から、平成26年度 第25回河内長野市地域公共交通会議を開会させていただきます。本日の出欠状況ですが、湯川委員、松倉委員、椋本委員、井戸委員については欠席されると伺っております。では、この後の議事進行につきましては、会長にお願いをいたします。
向井会長	はじめに、規則第8条第1項の規定により委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。また、この会議は、規則第8条第4項の規定に基づき公開とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
向井会長	<p>【議題1】</p> <p>それでは、まず始めに、議題（1）「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」（案）に対するパブリックコメントの実施結果について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （水上係長）	（事務局より、「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」（案）に対するパブリックコメントの実施結果について、資料1の説明）
向井会長	ありがとうございました。それでは、事務局からの説明に対して、ご意見・ご質問等はございませんでしょうか。
日野副会長	定期的に計画策定をしたりする時に市民のご意見をお伺いするのですが、その際に各個人の皆さんの生活の中で、バスが使いにくいとか、ここに路線があればいいとか、バス停が欲しいとかいう意見が常にあると思いますが、基本的に個々のご意見に合わせていくのはとても無理な話なのですが、他のところでもそういうことが出てきているということがあり、利用者の方々のニーズが変わってきていることがあります。高齢化でリタイアされた方々が、元々は団地形成があって、通勤の方々を中心にバスサービスをしているところがあって、そのままのダイヤが維持されてきている。地元の方々が調べてみたら、昼間の時間帯のニーズがあり、もっと昼間に欲しいと思っているが、その時のダイヤはあまりない。せっかく需要があるのに走らせないのはもったいないのではないかと議論をされ、一部ダイヤを地元と検討しながら調整して、朝減った分を昼間の時間帯で増やすというようなことを実際に実現されているところもあるようです。ですから、今のような進め方の中で、地域の方々の高齢化が進んで、引退されて

<p>向井会長</p>	<p>とか、いわゆるライフスタイルが変わってきている部分があって、どの時間帯にどの需要ができていくかについては、常に考えておいた方がいいことなのかなというように思い、そういったニーズの変化といったものを調べるようなことを是非考えていただいたら、こういうご意見の方々にも説明をしやすいと思いますし、新たな需要にうまく応えてお客さんが増えるということもあり得るかもしれないと思います。</p> <p>ありがとうございました。今、先生がおっしゃったように、まさにそのような我々の形成計画がニーズにあっていく必要があると思います。それでは、「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」(案)に対するパブリックコメントの実施結果については、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>続きまして、「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」の承認についてですが、平成26年10月2日に開催しました前回の会議以降に、平成26年の11月20日に法律の改正がありました関係で、今回の形成計画の内容に若干の修正が必要になったと聞いております。その点につきましては、大阪運輸支局の長谷委員からご説明をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>長谷委員</p>	<p>(大阪運輸支局説明)</p> <p>委員の皆様へ申し上げます。河内長野市地域公共交通会議は、今年度当初から、今日を入れて4回開催していただいております。過去3回につきましては、昨年6月、8月、10月に開催していただき、いろいろ協議を重ねていただいたところです。まず委員の皆様方、事務局の皆様方に対して敬意を表しますとともに感謝申し上げます。この間に、国の流れと言いますと、先程、会長からもありましたように、法改正がございました。形成計画策定の根幹を成す活性化・再生法の改正法が平成26年5月21日に交付され、同年11月20日に施行されたということです。また、同日、11月20日付で形成計画の策定のガイドラインなど基本方針が公表されました。このガイドラインを基本として形成計画を策定していくのですが、現在、当会議で策定していただいている形成計画案は、このガイドラインができる半年以上前から策定に向け協議を進めてきたこともあり、十分なガイドラインに沿った形を反映できていないことが、この1月9日ですが、国の上局のチェック、指示により判明いたしました。国の方としましても、当該会議で地域の公共交通の課題解決に向け真剣に取り組まれている河内長野市に対して、これまで十分にご指導ができな</p>

	<p>ったことをこの場でお詫びするとともに、ガイドラインに沿った形の形成計画に修正していただきますよう委員の皆様方並びに事務局の方へお願い申し上げます。修正点としましてはこの形成計画の根幹を成すような大きな修正ではございません。目標や評価などにかかる内容の修正が主なものになっております。今後につきましては、事務局と我々国の間で早急に詳細を詰めさせていただきたいと考えておりますので、どうかご了承の程よろしくお願い申し上げます。</p>
向井会長	<p>ありがとうございました。いろいろ計画を作っておりますと、国の方は目標とその評価を必ず出すようにということで、目標の数値を示すと今後1年後、また5年後には、それがどのような評価になったかが非常に求められています。そういった意味では、今回形成計画を作っている案については、委員の皆さんにいろいろご協力をいただいていたのですが、そのあたりのところの目標の数値、評価の仕方、そういったことを今後調整する必要があるということなので、今後、ご指導をいただきながらどのように進めていくのかを事務局より説明をお願いします。</p>
事務局長 (中橋課長)	<p>本日はお忙しい中、会議にご出席いただき、ありがとうございます。私からは計画修正の内容と今後のスケジュール、この2点について事務局として説明させていただきます。まずは計画修正についてですが、ただいま長谷委員からお話がありましたように、国の指導内容につきましては計画の根幹部分ではございません。目標や評価指標、数値設定にかかる整理ということですので、今から速やかに、国と計画修正の協議を行いたいと考えております。会議案内におきましては、本日に委員の皆様から形成計画のご承認をいただく予定でしたが、先程申しました国との修正協議が終了し、その修正内容を委員の皆様へ提示させていただいてから改めて形成計画のご承認をいただきたいと考えております。次はそのスケジュールについてですが、これから速やかに国と修正協議を行い、3月のできれば初旬までに形成計画の修正をし、3月中旬までに修正した形成計画を委員の皆様へ郵送し、そして個別にメールや電話等で委員の皆様からのご意見をお伺いしたいと考えております。そして3月末、30日の月曜日午後3時から次の交通会議を開催し、委員の皆様から個別にいただいたご意見をその場で紹介させていただき、またご協議いただきたいと考えております。場合によっては必要に応じて計画の修正を行い、その後、形成計画の最終承認をいただきたいと考えております。</p>
向井会長	<p>ありがとうございます。運輸支局さんと国のガイドラインに沿った修正を行うということで、事務局が申しましたように3月30日、それまでに</p>

<p>日野副会長</p>	<p>委員の皆様の意見をお伺いしながら再度修正をさせていただき、最終的な承認をいただくというような段取りで進めたいと思いますが委員の皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>数値目標というのは、管理する側としては便利なものなのです。数値で出てきて、それで判定するということになると思うのですが、個人的な考えとしては、もちろん国のガイドラインですので、それに沿った形で目標設定が必要だと思いますが、我々がここで議論してきたみたいに、単純に割り切れないものもあるだろうと思うんです。ですから、そのあたりも、できるだけ勘案していただけるような形で、かつガイドラインに沿ったようなものを指標として設定できたらいいかなと。今は、他のところでもそうですが、乗降客数が何人だとか、あるいは他の公共交通バス利用者が何人、何人以上になることとか、例えば、そういう設定だけをしているところがありますが、そうではなくて、例えば市民の移動満足度がどうであるとか、あるいは公共交通の利用の満足度がどうかとか、あるいは高齢者の方の外出がどうなったとか、今までもコミバスの社会実験をされた時に継続出来るかどうかの評価指標をしましたよね。その時も総合的評価をしてきたと思います。ところが、最近はトリガー方式みたいなものが、流行り文句みたいに出てきて、地元の住民だとすると、もしもこれだけ減ったら鉄砲で撃って、なしみたいなイメージが非常に強くて、突き詰められているみたいで個人的には好ましくないと思っています。ですから、もっとこれまでどおり、市民の方とか住民の方と一緒にこういうものを育てていくということ考えた時に、単純に人数がどうか数字がいくらとかということだけではなく、これからこういう取り組みが進められていく、というか続けられるような形のものとして評価指標を是非設定できたらと思ひまして。それについては、運輸支局の方からいろいろアドバイスをいただいて、わかるけどこれだったら国のガイドラインに合わないから無理、難しいとか、こういう形だったらできるんじゃないかというようなアドバイスをいただきながら、皆様のご意見と対応させながら指標などを作っていけばいいのではないかと思います。単純な発想だけで考えないで、ここで議論してきたようないろいろな面からの内容を指標化できるような形で皆さんにご検討いただけたらと思います。</p>
<p>向井会長</p>	<p>ありがとうございます。3月の下旬までにはとりまとめをし、委員の皆さんには中旬までにお送りし、3月30日の月曜日には再度お示してご意見があれば修正をし、ご承認いただけたらと思います。委員の皆さんよろしいでしょうか。ただいまの長谷委員からのご説明について、ご意見・ご質問等はございませんでしょうか。それでは、「第3期河内長野市地域公共</p>

	<p>交通網形成計画」の承認につきましては、長谷委員及び事務局からの説明のとおり、国と事務局で協議修正し、3月末の交通会議にて再度、修正点のご説明をさせていただいた上で、最終的にご承認をいただくということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（異議なし）</p> <p>【議題 2】</p>
向井会長	次に、議題（2）「バス利用の手引き・バスマップの作成」について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (田中)	（事務局より、バスマップの作成について、資料 2 の説明）
向井会長	以前からの会議の意見も踏まえて工夫しましたが、以前発行の分は各家庭にお配りしましたが、これはどういうふうな形を予定しているのですか。
事務局 (田中)	前は各戸配布させていただきましたが、今回は各戸配布せず、主に観光案内所、観光施設、公共施設、駅やバスの車内などで配布しようと考えています。
向井会長	できるだけ乗っていただいて、いろんな観光に来ていただく方にご利用していただくということですね。
阪上委員	これには千代田駅前の近畿大学病院前がありますが、来年度、病院は堺へ移転しますよね。
向井会長	近大病院は 10 年後です。近大病院移転のお話ですよね。10 年後くらい先の予定で、府との交渉もまだ調べておりません。
阪上委員	今のところはこのままということですね。
向井会長	他にもご意見ありませんか。他市でも作っている事例も踏まえて工夫しているのですが作れば作るほどまだまだ課題が出て来るとは思うのですが。
浅井委員	先程、バスマップの配布で観光施設とか案内所に置いて、多くの皆さんにご活用いただくと。これは 1 年半ほど前に議論した時に、各戸配布する時に冷蔵庫に貼るのに大きいほうが見やすい、という話がありましたが、今回配布のターゲットとしては観光の皆さんになると思いますが、そうい

	った時にサービスとしてこのサイズの折ったものが施設に置かれるということでしょうか。
事務局 (田中)	最終 A5 サイズで納品していただくと思っています。コンパクトになるので、鞆にも入れることができ、持ち運んで使っていただける形を想定して作成しようと思っています。
日野副会長	前はファイルに分割して入れて、家で保管してもらおうということでしたが、今回持ち歩いてもらう時に紙質を破れないように検討されているのかということと、裏に QR コードを付けているので詳細情報は裏面を見ていただくということですが、表面で詳細情報のあるものをつけたりするとややこしいですか。
事務局 (田中)	紙質は今、見積もりを取っていて、前回のバスマップと同じような紙質で作ろうと思っています。ただ金額が変わってくるので、業者と相談してそのような目立ちにくい紙があるのなら検討しながら金額を出していきたいと思います。表面に QR コードをつけるということですか。
日野副会長	そうではなくて、詳細情報が裏面にある施設にアスタリスクをつけるとか、囲みをつけるとか、どれが裏に乗っているのかが地図からわかったらいいかなと。
事務局 (田中)	表に載っている全部の施設ではなく、裏の詳細情報に載っている施設分だけなら、まだスペース上可能かと思しますので、検討して入れられるなら表の地図に入れたいと思います。
伊勢委員	バスマップの件ですが、事業評価にもあるように、今後、広告等をとって掲載していくという感じで進めていくと思うのですが、紙面上に広告が載ってくると、1 枚で全部書けなくなってくると。そうすると、観光は観光の部分であるとか、そのうち分けることを計画されているのか、もしされてる、されてないとすると、今後進めていく中でどういう位置づけになるのかを教えてください。
事務局 (鈴木主査)	議題 4 の事業評価で説明させていただこうかと思っていましたが、おっしゃるように有料広告を掲載した形で時刻表を作りたいという計画を立てていましたが、今回は広告を載せておりません。今回は、携帯性を重視し、バスマップと時刻表を強調したいので、広告を載せると、よりスペースが限られる関係上、今回、有料広告は載せずにこちらで全面的に載せた

<p>日野副会長</p>	<p>い情報を掲載しました。ただ、以前から有料広告を掲載して地域公共交通会議の自主財源の確保をしていきたいという目標も掲げているので、来年度以降も検討していきたいと思っております。今回についてはスペースの関係上、広告の掲載は省略させていただいたという形になっております。</p> <p>それに関連して、JR や南海電鉄がつくっている時刻表、1 回折り返している分は時刻表だけだから広告として入っています。こういった地図の分は、本来、地図に施設を掲載するという地図上に載っているということも大事です。ですから、広告のやり方として、詳しくどこの商店さんとかいう分もあれば、地図を見たらそこにその施設が載っているという使い方もあります。広告料ってそれほど単価がとれないと思います。だから、地図でこういったものも表すのであれば、こういったやり方もあるかなと。大きい所は共通で入ってしまっているの、できればそういうところも協賛、こういう形でお店を入れますので応援してください的な。その他のところも公募して、あまりたくさんは入れられないけど施設、お店、そういうものについて、いくらでここにマーク入れますみたいなことも含めて検討いただきたいと思います。</p>
<p>阪上委員</p>	<p>河内長野駅前から滝畑ダムに行くまでにくろまろの郷がありますね。バスは 1 日 5 便ですね。11 月 29 日に営業しましたが、その後のお客さんの状態はどうでしょうか。</p>
<p>向井会長</p>	<p>1 か月運行しての運行状況を把握していますか。</p>
<p>南海バス (大木)</p>	<p>1 便平均が 2 人くらい。土日で乗る時は 6、7 名乗りますが。</p>
<p>向井会長</p>	<p>広告看板とか市民の方でもご存じでない方がいらっしゃいます。まだ普及しておらず、バスに乗ってまではなかなか行っていないんです。</p>
<p>阪上委員</p>	<p>車で行かれる方が多いんですね。</p>
<p>向井会長</p>	<p>そうなんです、次の議題、観光の資源のところで、事務局からできるだけ乗ってもらえるような紹介があると思いますが、今のところはそのような状況です。それでは、バスマップにつきましては、事務局で整理させていただいて、印刷に出すということによろしいでしょうか</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p>

向井会長	<p>【議題 3】 次に、議題（3）観光資源と路線バスを活用した取り組みについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (田中)	<p>(事務局より観光資源と路線バスを活用した取り組みについて資料 3 の説明)</p>
向井会長	<p>紹介がありましたようにモックルカードは 600 円で、滝畑へ行く時にバスの定期券を持っていると休日 100 円で乗れ、持っていないと往復 1,060 円かかりましたが、この券が 600 円であることを知って購入し利用したら往復 460 円助かりました。こういうことを市民の方に利用していただいて、「奥河内ビジターセンター」、「あすかてくるで」でモックルカードで乗ってきたということを見せる必要がありますが、コーヒーや食事などを天気のいい日は芝生の上で楽しめるということですので、市外の人にも使っていただいて、もちろん市内の人にも使っていただけるのではないかと思います。バスを中心とした観光のことになっていて、今回は公共交通の問題を提案いたしますがお気づきの点があればお願いします。</p>
堀委員	<p>当日買うのですか、買い置きできるのですか。有効期間の問題で、回数券は割と面倒でお金払うのも面倒だし、小銭がなかったら、というのがあって、回数券はもっていますが無期限で使えますよね。</p>
南海バス (大木)	<p>モックルカードは 1 度通すとその日からになります。</p>
向井会長	<p>モックルカードは車内でも買えるのですか、河内長野駅前には販売所があって買えますよね。買える場所はそこだけですか。</p>
南海バス (大木)	<p>モックルカードは河内長野駅 2 階のアンスリーでも売っていますし、あとは定期券売り場横の自動販売機、またバスの車内でも売っています。</p>
堀委員	<p>バスをよく利用する人はわかると思いますが。</p>
向井会長	<p>モックルカードがどこで売っているかを紹介するとよいのではないですか。</p>
事務局 (田中)	<p>モックルカードの発売場所っていうのは裏面のオレンジの枠の所に書いています。</p>

向井会長	アンスリー河内長野店と南海バス河内長野営業所と書いてある、これがベースですね。他になにかお気づきの点があればどうぞ。
坂本委員	現場でバスの乗務員は 600 円のカードを大人 4 枚と子供 2 枚ぐらい分持っていて、滝畑の小学生などに買っていていただいているのが現状です。それプラス山へ行かれる人、岩湧山のほうへ。そういう時というのは車庫の前を通過して行きます。9 時 4 分発で出る時に、往復 1,060 円かかるけれども、モックルカードは 600 円だから 20 枚欲しいという話が来て、途中車庫の前で事務所の方に 20 枚持って来てよと言って持ってきてもらい、お客さんに買ってもらうということもあります。
辻野委員	バスマップの絵がございます。2 種類のバスの絵があるんですけど、下の方にくすまる号もありますが、これはバスだから、ここへくすまる号の絵は入れにくいということですか。
事務局 (田中)	これは入れ忘れです。バスマップということで、くすまるは見た目がハイエースで私の意向でバスだけを取り入れさせていただきました。
辻野委員	下にはくすまるの絵も載っていますので。
事務局 (田中)	スペース的に入れることはまだまだできます。
辻野委員	また、議論していただいて、うちの特徴として、奥河内くろまろの郷への日野・滝畑コミュニティバスとモックルコミュニティバス、くすまるということでデザイン的に目立つように PR できないかなと。それとモックルの絵が入っていると思うんですが、反転している部分があるから都市魅力戦略課の方に確認していただいて髪の毛が右にあるのか左にあるのか。使い方が決まっていると思いますので。
事務局 (田中)	印刷データを載せる際には、都市魅力戦略課の方に承認いただく形になると思いますので、その時に画像の使い方をご相談させていただきたいと思います。
辻野委員	反転の使い方ルールがあったと思うのでご確認をお願いします。
日野副会長	去年は前課長より是非コーヒーを獲得するようにという命令が出ていましたが、なかなか難しく、今回はパンまでついているというお得なプランですね。ちなみに去年の花の文化園や関西サイクルスポーツセンター

<p>事務局 (田中)</p>	<p>で、このサービスを使われたのがどれくらいあったか調べていますか。</p> <p>前回、花の文化園と関西サイクルスポーツセンターに初めての試みということと受付での事務量が増えるんじゃないかという懸念もありまして、前回は具体的な数値、何人来場したかということ数を数えてくださいとお願いはしていませんでした。ただ関西サイクルスポーツセンターでは休日、期間限定ではありましたが、その間にいくつかカードを持ってきた方はいらっしゃるということで、ある程度の利用があったとは聞いています。花の文化園は具体的な数値を把握してなかったということでデータはないのですが、今回は受付で人数を把握していただくようお願いしていますので、来年度からは何人使われたかということ公表できると思います。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>わかりました。ネガティブな面で行くといくら損したかみたいな話になるんですけど、元々がこういうことをすることによって、公共交通を使って、今まで車でしか行かなかった人が、公共交通を使って行っていただいて、いづらか来客が増えるということを期待しているということもあると思います。できる範囲で、どの程度の人が使っていて、若干なりでもお客さんが増えているかとかということがわかればいいかなと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>堀委員</p>	<p>モックルカードですが、地域で交付してもらおうように働きかけたいと思います。運賃も安くなって、子供さんや付き添いのお母さんも安くいけるといようなPRをしてもらおうと、個人でもこんな方法があるんだと思って、広がるかもしれない。地域での企画とかの時に、組み入れて計画してもらおうのも方法かなと思います。そのへんは私達市民の役目かなと思うので、是非紹介していきたいと思います。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>これは配布するんですか。</p>
<p>事務局 (田中)</p>	<p>配布場所としては、駅前の観光案内所、観光施設、公共施設、バスの車内などで、あとは南海電鉄の主要駅にも置かせていただき、広い範囲から来てもらいたいと思っています。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>ご意見から申しますと、1部くらいは回覧板で地元に戻せないかなと、こんなのがありますよと。</p>
<p>向井会長</p>	<p>広報の部署と相談して回覧板で各家庭に配ったら、見た時にヒントになることがあるかもしれない。そういうことで一度検討してください。</p>

<p>事務局 (田中) 濱本委員</p>	<p>担当部局とも相談させていただきます。</p> <p>バスマップでサニータウンの神社前があるんですが、住吉神社は入っていない。これは住吉神社前だと思いますが。他の神社は載っていますが。知ってる人はわかると思いますが。あとホテル、泊まるところにベッドのマークがあって、病院に見えますが。</p>
<p>事務局 (田中)</p>	<p>この辺については、画像自体をわかりやすくして作っているので、業者に頼む時に、旅館っぽくと言えばそのように作っていただけると思っていますので、そのように修正させていただきます。</p>
<p>辻野委員</p>	<p>消防本部を載せてください。</p>
<p>事務局 (田中)</p>	<p>追記したいと思います。</p>
<p>向井会長</p>	<p>【議題 4】 次に、議題（4）平成26年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (鈴木主査)</p>	<p>（事務局より、平成26年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について、資料4の説明）</p>
<p>向井会長</p>	<p>内容について、お気づきの点やご意見がありましたらお願いします。</p>
<p>浅井委員</p>	<p>地域協働推進事業と生活交通ネットワーク計画、2つの事業評価をしておりますが、まず書き方の問題で、資料4-1の事業の結果概要のところ、1つ目のところでいうと、地域に合った公共交通の試行運行の検討と2つ目でバス利用の手引き・バスマップの作成となっておりますが、その欄に、5万部作成して3月上旬に公共施設に配布予定ということが1つの結果なのかなと思います。事業実施の適切性を書く欄と事業の結果概要を書く欄が少し混乱しているのかなというのがまず1点。書き方の工夫がいるかなと。2点目が、地域に合った公共交通の試行運行の検討のところ、今回の目標が試行運行を関係者と勉強会をして検討するということが目標であったということで、勉強会を開催して、評価としてはAになっているのですが、改善点の内容を見ると、公共交通を要望する声は非常に多いですが、なかなか一緒に勉強を継続するという機運にはなっていない。というような書き方になっていると、勉強会をしたことが目標で、</p>

	<p>それが A になっているというのが、直列で結びつきにくいので、このあたりは少し書き方の工夫がいるかなと感じました。3 点目が結果概要と同じ有料広告を掲載しなかった要因、なぜ有料広告を掲載できなかったか、紙面の問題であるかというのは、やはり事実として書くべきかなと。なぜ有料広告を載せるかという、自主財源でもって継続した取り組みというのが目標なので、そういうところを今後の改善点に入れるべきかなということで再検討いただけたらと。あと資料 4-3 のところで、③前回の事業評価計画の反映状況についてで、一昨年 5 月 22 日に確保維持改善事業の第三者評価委員会の中で、事業評価結果に対して、第三者の先生方から要因分析がいたり踏み込んだ記載がいたりよねと言われたことに対してどうであったかということや少し反映状況に書くべきではないかなということで、少し工夫していただけたらというのが 4 点。最後に日野・滝畑コミュニティバスのところで、輸送人員については、対前年度比に対して未達成であったということで、その要因分析のところ、週休日ごとに大雪、大雨等が影響を受けたということですが、もう少し因数分解すべきかなと。日野や滝畑は観光施設があるので、全体が人口減少とかの影響なのか、観光施設の来場者数の減少が大きな要因なのか、天候が要因なのかによって、ここに書く改善点の内容が変わってくるので、そのあたりについてはもう少し分析が必要かなということです。</p>
<p>事務局 (鈴木主査)</p>	<p>勉強会の開催等につきましても、公共交通空白不便地域の解消を最終的な目標にしているところです。今回の評価が、プロセスの評価ばかりをしまい、結果のほうの評価に触れておりませんので、こちらについては微修正をさせていただきたいと思います。日野、滝畑のほうの分析は、もちろん人口減少が影響していると思います。今回これを書かせていただいたのは、ちょうど台風が来ましたが 8 月の夏休みの土日と 10 月に 2 週連続して週末に来まして、その時の調査人数を見ると、毎週土日は 3 桁の数字 100 人を超えて乗車していただいているんですが、台風が重なっていた時には通常でしたら 130 人ぐらい利用しているのが、2 桁の 50 人前後だったので、これは間違いなく影響しているとは考えています。しかし、それだけではなく、やはり人口減少ですとか車の方に移動をとられてしまっているということもあると思いますので、もう 1 度考え直させていただきたいと思います。書き方については、どこがポイントなのかを見直して、もう一度工夫して書き直させていただきます。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>公共交通空白不便地域の解消については、必ずしも試行運行することが結果ではないと思います。地域の中で必要なところがどのぐらいあるのかを把握することと、地域がそれに向けて試行運行に向けて取り組みをするこ</p>

とが成果だと思っんです。地域でいらないと判断されれば、おそらく試行運行はいらなと思っしますので、いらなところへ運行するなんてことはあり得なないので、書き方へは少し修正があるかもしれませんが、ここの目的そのものが、空白地域不便地域の解消へ向けて地域と一緒へ取り組んでいくこと。その結果として、必要へ応じて試行運行していくことへなると思っます。その辺は少し留意した方がいいのではないかと、試行運行することが必ずしも目標ではないと思っます。資料 4-3 につきまして、利用者数は微減であるという傾向の中で、何かをすることで何がどう変わったのかということだと思っます。そういう状態だからこそ、イベントがあったとか天候不順があったとかは、かなり大きく影響してしまふことは間違いないと思っます。そのあたりのところを今のまま平均値としては下がってきている、その中で補助事業としてはこんな事業を実施して、それについて何もなければ結果として効果があったとかなかったみたいなどころだし、もしも大幅へ減っている場合には、それ以外の外的要因がかかっているはずだから、まさに天候などの影響が大きく効くはずです。今さら、多分自動車へ乗り換えたという話は出てこないと思っます。今までのずっと長い歴史の中での自動車分担率があるので、ここ 1 年間の間に全部自動車へ乗り換えられたということはないので、全体の動向を見ながら全体平均へ比べてこの路線がどうだったのかということへ本当は見ただほうがよくて、この路線だけを例えば 90 を 100 へしますとかみたいなことへするのはつらいことをしていますよねと。全体へ減っている中に増やしますというのはすごく大変なことだと思っます。今後へ向けても減っていることはいいということではないのですが、全体の傾向の中でこういう事業を実施した箇所については、それを勘案した上での評価をするというふうへ考えた方がいいと思っます。今回ここでやっていることへ対して、この結果へ対して、ある範囲の中で答えられるように文面へ変えていただいたらいいと思っんですが、そこのところだけは注意していただいたらいいと思っます。

浅井委員

試行運転することが目標ではないとおっしゃっていただいたのは、そのとおりですし、公共交通を考えると自身も非常に大事なことだと私は理解しています。なぜここでこういうことを言ったかといひますと、私も府営駐車場をしておりまして、ここで事業評価を毎年されています。その中で、アウトプットとアウトカムということで、プロセスとそれが結局、市民の心の満足度へどう活かされているかというところへ常に我々もやったという回数だけを成績として出しますが、結局満足度へなかなか結び付いていないというところへ日々苦労していますので、事務局のお気持ちはよくわかっております。なので、評価の書き方についてはそういう評価がある

<p>向井会長</p>	<p>よということを意識して、書き方とか表現は事務局にお任せをさせていただきたいなと思います。</p> <p>フィーダー計画を見た時に、普通は減っていくのに、いろんな施策をすることで維持をしていると。南海さんの努力もあって大変な中で頑張っているのかなと。来年はどうなっていくのかなというふうに見ています。この議題（４）につきましては、これから事務局のほうで、国土交通省に申請をするのですが、細かな修正等につきましては、事務局一任ということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（異議なし）</p>
<p>向井会長</p>	<p>最後に、その他案件ということで、ご意見・ご提案等はございますか。</p>
<p>堀委員</p>	<p>公共交通ということではありませんが、第一交通さんのご協力をいただき、三日市町駅と岩湧山の中腹の四季彩館、市の山の案内所、それからいろいろイベントをしている館内と、その間のテスト運行をしていただきました。水上さん、田中さん、他の方、四季彩館の担当の方と農林課の方がうまく話をしていただきまして。山の中で道が狭くてバスの最寄駅、神納というバス停なんですけど、やっぱり上の方まではバスで行けない。登山に行かれる方は狭いながらも6カ所ほどの駐車場がありまして、それを利用して、車で行かれる方が大半なんですけど、バスもなかなか利用されにくい状況です。特にそういう時に、車を運転されない方や体の弱い方、高齢者の方に、当時11月の後半でしたが、紅葉の素晴らしい時期に、四季彩館で森のカフェというイベントがされました。その時に往復で2日間各1台ずつでしたかPR不足でたくさんの人には参加していただけなかったんですが、利用された方はすごく喜ばれてました。それに関して乗合的なことも工夫してもらったりとか、運賃も市のほうで一部補助みたいな形で考えていただいたりしています。今後ともそういう形のものが定着し、イベントだけじゃなくて、山登りの人の足の便になったり、帰りの便になったりということ動き出すと、それがまた地域のほうに波及できたらいいかなと感じました。</p>
<p>向井会長</p>	<p>四季彩館は車でないと神納のバス停から相当な距離があります。催しものがある時には、こういった仕掛けをして、どういうふうにPRをして、予約制とかどういうふうにするのかということがありますが、また皆でいろいろ検証をして、市内のいろんな観光地があるんですが、行きにくい場所への公共交通を使っの仕組みみたいなものを作っていければなと。事務</p>

	<p>局もいろいろ工夫を重ねておりますので、また委員の皆さんのご指摘、ご意見をいただければと思います。</p>
<p>浅井委員</p>	<p>南河内は地域公共交通に対して非常に悩み苦しんでいる。河内長野市はいろいろ前向きに検討されていますので、実は今週ここ以外にもいろんなところで交通会議があるので、もしお許しいただけるのであれば、河内長野市さんの取り組みを各市にこんなことをやっていますよと。特に千早さんとかは悩まれていますので、ご紹介するという事はいいですか。</p>
<p>向井会長</p>	<p>うちの市だけがどうということではなく、圏域でとらえていく必要があると思います。各自治体が連携しながら取り組んでいくことが大事だと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>今のことは、大阪運輸支局で実施していただいている担当者連絡会議で、ブロック毎に今まで実施されています。それは何のためにやっているかという、よそがやっている良いことは真似しよう、よそが失敗したことは学習しようということで行っていただいています。大阪府や支局さんはあちこちに行かれるので、そういうことは是非積極的にしていただいたらいいのかなと。1点だけ、河内長野市さんは総合計画とか都市マスの改定はいつ頃ですか。私は、いろんなところでバスだけでなく行政の方々と話をしてまして、1つは非常に悲観的な話として、政府の大阪府さんの人口の推計で、大阪府の人口これだけ減りますよね、18歳人口がこれだけ減りますよねみたいなめっちゃくっちゃ下を向いた線ばかり引かれるんです。そういう時に高齢化率の話が出てきまして、高齢者の定義をいつまで一緒にしておくのかという話が1つありまして。もし仮に65歳からを高齢者にしたままで人口減少を考えると、半分ぐらい高齢者になってしまいます。そうすると今考えているまちづくりは基本的に無理ではないかと思うんです。私は前から申し上げているように2つ考え方があるんですけどそもそも高齢者の考え方を見直さないといけないんじゃないかというのが1つ。単に見かけ上だけじゃなく現にお元気ですと。そうすると高齢化率は下がりますよね。下がるだけじゃだめなので、高齢者のリタイアされた方をどう活用するのか、どう動かすかということがすごく大事ですよ。なので、そういうことを真剣に考えていくべきだと思っていて、行政としてはそういった人達をシルバー人材にいきなり登録するのではなくて、分野別、専門別などの人材バンクを是非作っていただいて、それをもっと十分に活用してほしいというのが1つあります。もう1つ、少子化とかの関係で言うと、行政として近居、同居の補助事業とかいろいろなことをされていて、空家の防止も含めて。そういう中で女性の働く</p>

	<p>機会などを考えた時に、保育所もいいんですが、なかなか間に合わないのもあって。ある 1 つの方向としては、近くに親が住んでおられて、おじいちゃん、おばあちゃんが面倒を見ながら両親が働きに行くとかですね。そういうことを考えていく中で、おじいちゃん、おばあちゃんが孫とどう過ごすのかという話になると、孫と過ごせるような場作りがいののではないかと。そういうことのためには移動手段があるので。昨今ニュースでいっぱい出ているように、高齢者が車でいっぱい出かけると事故がいっぱい起きているので公共交通を使うようなことを考えないといけない。ということで、当たり前ですけど、公共交通のニーズをどんな風にこれから考えていくのか、逆にどう作っていくのかということを考えていかないと、今のままでは全部シリ貧ですよ。路線いらなくなりますとかバスやめますとかしかなり得ないと思うんです。ですから、そういうことを含めて、企画部局とか、福祉部局も含めて、ある時期から真剣に議論を始めていただいたほうがいいんじゃないですか。この先 10 年 20 年、大阪府の予測で 2035 年とか 2040 年ですかね。すごい人口減少のデータを出しておられるんですよ。そうすると今の 90 が 100 になりましたという議論ができなくなると思うんです。ですから、このままシリ貧でいくのではなくて、市の中でもっと活性化するために必要な方法というのを、いろんな部局で、部局庁内会議とかですかね、そんなところも含めた上で検討していただいた上で、逆にこの会議の場にこのようなことを考えているからこの会議で議論してよ、みたいなことを言っただけのようなことを河内長野市さんへの希望ということでお願いいたします。</p>
<p>向井会長</p>	<p>今まさに総合計画を策定しておりまして、今先生がおっしゃったように消滅可能性都市ということで、生産年齢人口が少ないということです。しかし、65 歳以上も非常に皆お元気で、いろんなリーダーとしてそこからまた分派していろいろな活動が広がっているということもありますので、様々な形で発展させていきたいと思えます。また皆さんにご意見を伺う場を設けていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局 (中橋課長)</p>	<p>次回の交通会議は形成計画の修正を行った上で、3 月 30 日月曜日の午後 3 時から開催させていただきたいと考えておりますので、委員の皆様よろしくお願いいたします。</p>
<p>向井会長</p>	<p>それでは、これをもちまして、平成 26 年度 第 25 回河内長野市地域公共交通会議を閉会いたします。今後とも、皆様のご協力をお願い申し上げます。本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成27年1月20日（火） 午後3時から 河内長野市役所 802会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	向井 一雄	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 准教授	
委員	長谷 潤	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門首席運輸企画専門官	
委員	湯川 義彦	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門首席運輸企画専門官	欠席
委員	浅井 敏彦	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	松倉 昌明	大阪府富田林土木事務所 地域防災監兼地域支援・企画課長	欠席
委員	川幡 一哉	大阪府河内長野警察署交通課長	
委員	植田 光昭	南海バス株式会社企画部企画課長	
委員	奥村 夏男	南海バス株式会社営業部営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	池谷 育晃	大阪第一交通(株) 河内長野営業所長	
委員	椋本 専次	近鉄タクシー(株) 南大阪総合営業所長	欠席
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会会長	
委員	阪上 明	河内長野市観光協会相談役	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会理事	欠席
監事	濱本 友美	市民代表	
委員	堀 泰明	市民代表	
委員	徳田 博久	河内長野市健康長寿部長	
委員	扇田 宗彦	河内長野市産業経済部長	
委員	榊井 繁春	河内長野市都市づくり部長	
委員	塩谷 聡	河内長野市総務部長	
委員	辻野 修司	河内長野市総合政策部長	